

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL <http://www.kc-s.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川瀬 康平
 問合せ先責任者（役職名） 取締役営業開発部長兼（氏名） 糸川 克秀（TEL）06（6222）7474
 最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,687	2.9	△2	—	12	△3.6	△1	—
24年3月期第2四半期	1,737	4.0	△8	—	13	—	△1	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第2四半期	△0.25		—					
24年3月期第2四半期	△0.29		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,560	—	3,523	—	—	77.2
24年3月期	4,747	—	3,582	—	—	75.5

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 3,523百万円 24年3月期 3,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,600	3.1	50	94.3	70	24.1	50	△45.6	10.33	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	5,160,000株	24年3月期	5,160,000株
25年3月期2Q	321,760株	24年3月期	321,760株
25年3月期2Q	4,838,240株	24年3月期2Q	4,838,654株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として輸出が弱含むなど、回復の動きに足踏みが見られ、先行きも、当面は弱めの動きが見込まれております。

ビジネスフォーム業界におきましても、企業の経費削減のための合理化や、電子化の進行などによる総需要量が減少したこと、及び企業間の競合による価格の低下と厳しい環境が続きました。

このような状況下、営業部門におきましては、金融・IT関連を中心に情報処理案件のアウトソーシングニーズの掘り起こしや、中央官庁をはじめ市区町村・外郭団体などや、既存取引先へのターゲットを絞った取引深耕活動、及び収益確保の為の採算の悪い案件の価格改定を中心に収益改善に努めました。

生産部門におきましては、生産効率の向上や付帯設備の導入による内製化の促進、資材の購入先や購入方法の見直しによる材料費の軽減及びミスによるロス撲滅のための取り組みを中心に活動いたしました。

しかしながら、取り巻く環境は予想以上に厳しく、当第2四半期累計期間における業績は、売上高が1,687百万円（前年同期は1,737百万円）にとどまり、経常利益12百万円（前年同期は13百万円）、四半期純損失1百万円（前年同期は1百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気の低迷による総需要量の減少及び価格競争の激化の影響はありましたものの、既存取引先への深耕活動等により売上高は、前年同期と比べ19百万円増加し1,134百万円（前年同期は1,115百万円）、セグメント利益は130百万円の利益（前年同期は76百万円）となりました。

② 情報処理事業

新規案件獲得に幅広く活動しましたが、金融関連の総需要量の減少並びに電子化の進行の影響は大きく売上高は、前年同期と比べ70百万円減少し552百万円（前年同期は622百万円）、セグメント利益は40百万円の利益（前年同期は99百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間における流動資産は前事業年度末と比べ131百万円減少し、2,464百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が47百万円、「受取手形及び売掛金」が117百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は前事業年度末と比べ55百万円減少し、2,096百万円となりました。これは「有形固定資産」及び「無形固定資産」の取得増加が65百万円、「投資その他の資産」に含まれる「保険積立金」の10百万円増加があったものの、「減価償却」及び「有形固定資産」の売却等の減少が104百万円、「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が27百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ90百万円減少し、802百万円となりました。これは主に「買掛金」が51百万円、「その他」に含まれる「未払金」が20百万円、「割賦未払金」が11百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ36百万円減少し、235百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が14百万円、「長期割賦未払金」が10百万円、「役員退職慰労引当金」が7百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ59百万円減少し、3,523百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が49百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により135百万円の収入、投資活動により76百万円、財務活動により95百万円の支出となった結果、前事業年度末に比べ37百万円減少し1,727百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、税引前四半期純利益5百万円に主に非現金支出費用の減価償却費92百万円、投資有価証券評価損15百万円、売上債権の減少額117百万円を加算し、仕入債務の減少額51百万円を減算したことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは135百万円の収入(前年同四半期は111百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に有形固定資産の取得による支出69百万円により、投資活動によるキャッシュ・フローは76百万円の支出(前年同四半期は32百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主にセールアンド割賦バック取引による支出22百万円、リース債務の返済による支出20百万円、配当金の支払額48百万円の支払いにより、財務活動によるキャッシュ・フローは95百万円の支出(前年同四半期は101百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績見通しにつきましては、現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更が、当第2四半期累計期間の営業損失、経常利益及び税引前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,855,287	1,807,379
受取手形及び売掛金	648,516	531,173
商品及び製品	31,022	36,775
仕掛品	3,996	6,730
原材料及び貯蔵品	27,385	28,469
その他	29,330	53,912
貸倒引当金	△137	△112
流動資産合計	2,595,401	2,464,328
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	451,887	432,808
土地	533,457	523,057
その他(純額)	474,419	466,239
有形固定資産合計	1,459,764	1,422,105
無形固定資産		
投資その他の資産	103,901	101,929
固定資産合計	588,858	572,546
固定資産合計	2,152,524	2,096,582
資産合計	4,747,925	4,560,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,978	157,308
短期借入金	406,640	406,640
未払法人税等	13,121	11,260
賞与引当金	44,329	47,397
その他	220,092	180,006
流動負債合計	893,162	802,611
固定負債		
長期借入金	6,720	3,400
退職給付引当金	37,861	39,051
役員退職慰労引当金	30,046	22,147
その他	197,137	170,526
固定負債合計	271,764	235,125
負債合計	1,164,926	1,037,737

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,260,051	1,210,439
自己株式	△80,211	△80,211
株主資本合計	3,579,145	3,529,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,853	△6,360
評価・換算差額等合計	3,853	△6,360
純資産合計	3,582,998	3,523,173
負債純資産合計	4,747,925	4,560,910

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,737,869	1,687,067
売上原価	1,305,350	1,253,994
売上総利益	432,518	433,073
販売費及び一般管理費	441,492	435,765
営業損失(△)	△8,973	△2,692
営業外収益		
受取利息	778	124
受取配当金	1,350	2,756
助成金収入	30,282	13,821
その他	7,121	8,008
営業外収益合計	39,533	24,711
営業外費用		
支払利息	7,294	6,987
投資有価証券評価損	6,462	—
為替差損	2,705	1,910
その他	745	248
営業外費用合計	17,208	9,145
経常利益	13,351	12,873
特別利益		
固定資産売却益	435	8,119
その他	—	589
特別利益合計	435	8,709
特別損失		
固定資産除却損	1	177
固定資産売却損	6	—
投資有価証券評価損	4,794	15,898
損害賠償金	5,896	—
特別損失合計	10,699	16,076
税引前四半期純利益	3,087	5,505
法人税、住民税及び事業税	4,494	6,735
法人税等合計	4,494	6,735
四半期純損失(△)	△1,406	△1,229

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,087	5,505
減価償却費	103,862	92,460
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,917	3,067
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,865	1,189
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,322	△7,898
受取利息及び受取配当金	△2,128	△2,881
支払利息	7,294	6,987
有形固定資産売却損益 (△は益)	△429	△8,119
有形固定資産除却損	1	177
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,257	15,898
売上債権の増減額 (△は増加)	16,072	117,342
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,096	△9,570
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,127	△51,670
その他	2,496	△14,236
小計	123,585	148,229
利息及び配当金の受取額	2,128	2,879
利息の支払額	△7,384	△6,916
法人税等の支払額	△8,820	△8,405
法人税等の還付額	1,513	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,022	135,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△24,458	△69,667
有形固定資産の売却による収入	11,673	1,428
無形固定資産の取得による支出	△9,975	△3,912
投資有価証券の取得による支出	△614	△587
保険積立金の積立による支出	△9,678	△12,444
その他	451	△1,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,600	△76,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,320	△3,320
自己株式の取得による支出	△84	—
セールアンド割賦バック取引による支出	—	△22,883
リース債務の返済による支出	△19,499	△20,858
配当金の支払額	△48,269	△48,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,173	△95,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,705	△1,910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,457	△37,907
現金及び現金同等物の期首残高	1,598,147	1,765,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,572,690	1,727,379

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,115,524	622,345	1,737,869	—	1,737,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,115,524	622,345	1,737,869	—	1,737,869
セグメント利益又は損失(△)	76,705	99,949	176,654	△185,627	△8,973

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,134,515	552,552	1,687,067	—	1,687,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,134,515	552,552	1,687,067	—	1,687,067
セグメント利益又は損失(△)	130,096	40,310	170,407	△173,099	△2,692

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。当該変更が、当第2四半期累計期間のセグメント利益に及ぼす影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。